

温故知新で豊かな東京（都市） を再生する

明治学院大学 服部圭郎



問題提起

- 経済的な成長によって東京（都市）をこれからも豊かにすることができるのか？
- 失われた20年で、一体何が失われたのか？
- 我々はそもそも何を求めているのか？



問題提起（１）

- 経済的な豊かさが、これからも都市、そして我々の生活を果たして豊かにしてくれるのだろうか？
 - － 原発（エネルギー）、道路（自動車）、ショッピング・センターが豊かさをもたらすといったことに対しての漠然たる、しかし払拭できない不安
- 「豊かさはお金だけでなく、共同と自給自足の経済の総和であったはずなのに、いつ、お金だけが豊かさを計る尺度になってしまったのでしょうか」

吉本哲郎『地元学をはじめよう』

- 「一度、新青梅街道を歩いたことがあるんですが、大した距離でもなかったのにすごく苦痛でした。真っ直ぐだから本当に疲れるんです」

宮崎駿『トトロの住む家』



問題提起（２）

- 愛知万博で一番人気
が「サツキとメイの
家」であったことの
皮肉
- 「今ふうの家というのは、
意匠なき画一化の結果で
す。（中略）これで退屈
なものにならなきゃおか
しいくらい」（宮崎駿）



経済的な豊かさ追求で生じた綻び

- 経済的な視座、ビジネス的な視点からでは、我々が求めている「豊かさ」は、成熟社会においては創造することはできない。



シーサイドの開発

- フロリダのリゾート・タウン、シーサイドの大成功
- そのデベロッパーであるロバート・デビスの言葉
「ビジネス・スクールの奴には手を触れさせるな」



経済的な豊かさへの追求という呪縛を 解き放つことで再生された水俣

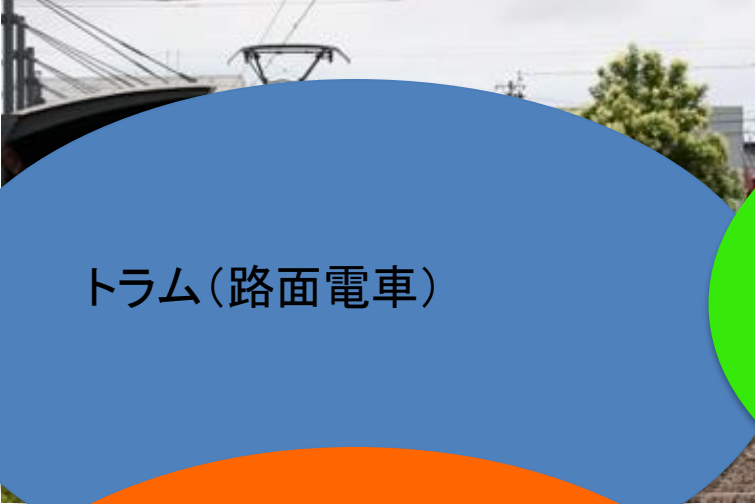
- 自分達のこと自分達でやるという自治する力を根本に据える
- 海・山・川が元気であれば、生産と生活の場が豊かになる
- 地元志向の「もやいなおし」で再生する



今まで、捨ててきたものの豊かさを再評価する



今まで、捨ててきたものの豊かさを再評価する



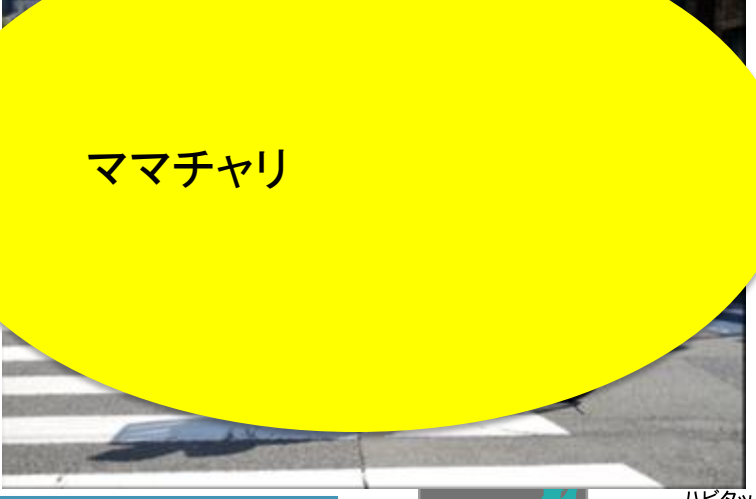
トラム(路面電車)



地域アイデンティティ



ヒューマン・スケールの商店街



ママチャリ



欧米が取り戻し、再生しようとしているものを積極的に捨てている日本

欧米



日本



市場



欧米が取り戻し、再生しようとしているものを積極的に捨てている日本

欧米



日本



人を主人公とする
商店街



ハビタットデザイン研究所

habitat
habitat design research institute

欧米が取り戻し、再生しようとしているものを積極的に捨てている日本

欧米



日本



人を主人公とする
都市空間



ハビタットデザイン研究所

habitat
habitat design research institute

欧米が取り戻し、再生しようとしているものを積極的に捨てている日本

欧米



日本



トラム(路面電車)



欧米が取り戻し、再生しようとしているものを積極的に捨てている日本

欧米

日本

アイデンティティ



欧米が取り戻し、再生しようとしているものを積極的に捨てている日本

欧米（生活自転車）

日本



ママチャリ



- 自転車は歩道？ 車道？——。警察庁は先月、自転車は原則として車道を走らう各都道府県警に通達を出した。
- 群馬県警交通企画課のまとめでは、昨年、自転車が車にはねられる事故が3136件あったのに対し、自転車と歩行者との事故は30件。今年も10月末まででそれぞれ2688件、25件と圧倒的な差がある。

（2011年11月11日、asahi.com）



欧米が取り戻し、再生しようとしているものを積極的に捨てている日本

欧米



日本



夜の暗さ



欧米の都市が取り戻そうとしているもの

- 公共性
 - アメニティの高い、個人では実現が難しい公共の豊かさ
 - 都市の魅力を向上させる公共空間の創造（ローカルな商店街含む）
 - 自動車という移動の私的化ではなく、公共交通による移動の公共化
- 人間性
 - 高齢者・子供に優しい都市
 - 自動車ではなく人が主人公となれるような都市空間
 - ママチャリ
- サステナビリティ
 - 環境負荷の低減
 - 成長ではなく成熟安定した社会経済への志向
- 地域アイデンティティ



ヨーロッパが捨てようとしているものに、 相変わらず拘泥している日本



住宅地内に自動
車



ヨーロッパが捨てようとしているものに、 相変わらず拘泥している日本



高層マンション



ヨーロッパが捨てようとしているものに、 相変わらず拘泥している日本



市街地における
自動車のための
広幅員道路



最近ではアメリカもヨーロッパ的な豊かさを
求めつつあるのは興味深い動き

ブロードウェイのホコ天化 ハイライン



懐古的なアプローチの有効性 そろそろ経済的豊かさの呪縛からの解放を！

- 日本の生活文化（衣・食・住）でトップレベルにならないのは「住」。それは住宅であり、都市環境。
- しかし、都市環境を豊かにすると考えられていたものが実は、都市環境を貧相にしているという事実
 - 道路や自動車
 - 電気やエネルギー
 - 物流の効率化
 - 欲望を拡張させるマーケティング
 - 土地利用の過度の高度化



具体的な提案（マクロ面）

- 自立と分権
 - 仕事、責任、権限の分権化を図り、多様性ある国家、組織を構築する（地方分権）
 - 電力自由化を含めた期制の排除をし、国内での競争を活発化させる
- 教育、福祉、医療等の充実を図り「個」のレベルを向上
 - 特に若者、将来への投資を活発化させる
 - 将来の世代に負担を押しつけない
- 豊かなる公共性の創出



具体的な提案（ミクロ面）

- エネルギーの地域自立化
 - スマートグリッド
 - 再生可能エネルギーの普及
 - 東京湾横断道路や東京湾の工場跡地に風力発電を増強
 - 人間が主人公になれる公共空間を増やす
- 人間が主人公になれる公共空間を増やす
 - 歩行者、自転車、スケートボード、ローラースケートなどで移動できる都市動線の充実
 - 「新しい公共」のメディアとしての公共空間づくり
 - 都市の魅力の構成因子である多様性、雑多性、猥雑性を演出
- コミュニティ・ビジネスなど住民、地元主体の活動を展開
 - 地産地消、市民参加



結 語（１）

- これまでの経済成長といわれたものが、我々に豊かさをもたらしたのか。これからも、もたらすのか？



結 語（２）

- ヨーロッパでは、より人間の皮膚感覚の快適性を追求した都市づくりを展開している。
- オーストラリアやアメリカもこれに追随している。
- 日本は？



結 語（３）

- ２１世紀の成長しない時代における豊かな都市空間の創造が可能
- それこそ温故知新の都市づくり





ご静聴有り難うございます

